

# 歯科 50 万署名推進ニュース

NO. 4 (2011. 7. 26 FAX2 枚)

発行：「保険で良い歯科医療を」全国連絡会事務局

連絡先：全国保険医団体連合会内（歯科 TEL：03-3375-5120 FAX：03-3375-1862）

## ◆ つながりのある労組や患者・住民団体、業者等へ送付・・・愛知

愛知県連絡会の加盟団体である愛知県保険医協会では、歯科会員や歯科・医科の理事・世話人に署名を送り協力を訴え、7月25日現在の署名数は5,178筆となっています。今月中に、協会で行うつながりのある労働組合や患者・住民団体、あるいは印刷所・銀行・生保会社などの業者にも署名用紙を送付し、協力を訴えます。

署名運動に積極的に取り組んでいる歯科医師からは、「患者さんなどに一声かけると、すぐに応じてもらえ、関心が高い要求だと感じる」「今回の署名はとても反応がよい。署名の協力者が『歯科医院を受診する時に心配なのは、痛くないかと費用がどれだけかかるかということ。“お金の心配がない”というのが本当に実現したらいい。歯科医師の先生を応援します』と言われ、大変うれしかった」との声も寄せられています。

## ◆ 署名用紙の活用数が 60 万枚を突破。技工士会、衛生士会など 250 団体へ署名協力を送付・・・全国連絡会

全国連絡会では、「推進ニュースNo.3」で紹介したとおり、岩手県保険医協会が岩手県歯科衛生士会と懇談した際、県衛生士会インフォメーション発送時、約250名の会員に対し、600枚の署名用紙の配布をいただけることになった経験にも学び、日本技工士会、日本衛生士会をはじめ各都道府県の技工士会、衛生士会に署名協力の訴えと署名用紙を送付しました。

また、市民団体、業者団体、労働組合などの全国団体には、署名協力のよびかけとあわせて、全国連絡会との懇談要請をあわせて送付しました。

なお、各地、各団体で「お金の心配をせず、保険で良い歯科治療を」の署名のとりくみが始まっていますが、現在、活用枚数が60万枚を超えました。

## ◆ 患者さんにお問い合わせ文書と署名用紙を送付・・・愛知連絡会/大藪会長

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会の大藪憲治会長は、以前通院していたが今は受診していない患者さんに、署名のお願い文書（別紙参照）と署名用紙を送付し協力を訴えています。2年前の歯科署名の時には、署名用紙を持って患者さんが受診してくれるようになり、増患にもつながりました。この署名用紙は歯科医師と患者の信頼関係にも一役買っているようです。

\*\*\*\*\*

## お金の心配をせずに、安心して受けられる「保険で良い歯科医療」の実現を求める署名のお願い

夏本番を迎え、暑い日が続きます。いかがお過ごしですか。あまの歯科クリニックの大藪憲治です。この町で開業して16年、いつも温かいご支援を頂き、本当にありがとうございます。おかげさまで、一昨年ご協力していただきました「**保険で良い歯科医療**」を求める請願署名は、愛知県で**6万筆を超えました**。多くの方からのご署名は、国会議員を動かす力となり、歯科医療を充実することの大切さが国会に届き、今国会で歯科口腔保健法が成立しそうです。この法案は、赤ちゃんからお年寄りまでそれぞれの年代においてお口の健康を保てるよう、適切・効果的に歯科口腔保険を進めようとするものです。まだまだ不十分な点もありますが、引き続き「保険で良い歯科医療」の実現に向けて頑張ります。

ところで、一昨年の署名運動の中、「**毎回の治療費がいくら掛かるか心配だ**」という声を頂きました。ある調査によりますと、日本中で**医者にかかれない世帯が約100万世帯あるそうです**。その理由のトップは「**自己負担が高い**」、つまり**治療後、窓口で支払うお金が高すぎる**というのです。ましてや歯科の治療では、保険が利かない治療ということで自費を勧められるため、治療費を心配される方が多いのです。このため、お口のトラブルがあるにもかかわらず歯医者に掛かるのをためらう人が増えています。いつでも、どこでも安心して医療が受けられるよう毎月それ相応の保険料を支払っているのに、これではなんのための国民皆保険制度かわかりません。

3・11の東日本大震災のつめ跡と福島原発の事故の影響で、東北地方の医療現場は極めて困難な状況に置かれています。またこの余波を受け、震災地域以外にも経済的な厳しさが日本中に広まり、お金の心配から医療を十分に受けられない状況が広がっています。しかしこんな時だからこそ命と健康を守る医療は、誰もが安心してかけられるよう大切に守り育てねばなりません。この事態を改善するため歯科医師の私は、医療を守る運動として、窓口負担を軽減し、保険のきく範囲を広げ、お金の心配がない「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組むことにしました。ぜひこの趣旨をご理解頂き、ご協力をよろしくお願い致します。署名用紙は、5人分が埋まらなくても構いません。ご署名して頂きましたら、同封の封筒（切手不要）で郵送して頂くか、あまの歯科クリニックの受付までご持参ください。

お手数をお掛けしますが、ご協力をよろしくお願い致します。

あまの歯科クリニック 院長 大藪憲治

追伸：このたびの署名は、一人でも多くの方にご協力をお願いしたいと思い、今まで当院を受診していただいた皆様にお送りしております。ご家族で受診されている方には、ご案内が重なってしまうこともあります。何卒、ご容赦のほど、お願い致します。

※運動の推進を図るため、各地の取り組みを「歯科50万署名推進ニュース」として、定期的に紹介していきます。各地の取り組み、反応など是非ご紹介下さい。また、当面、保団連ホームページの「歯科のページ」にアップいたします。